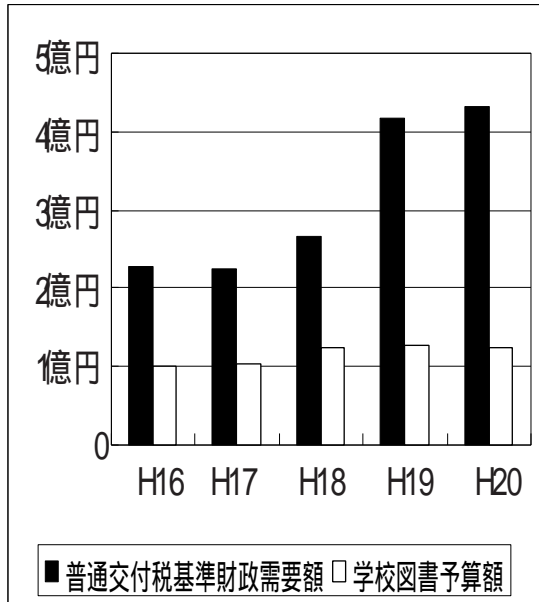


学校図書費や教材費の増額求める

学校図書費の推移



小中学校の図書が不足しています。学校の規模別に蔵書の必要冊数が定められています。四・中学校四しかありません。一〇〇％を越えているのは一八％。北海道の二七％は都道府県別では全国最低。地方交付税の基となる基準財政需要額で見ている図書費のかなりの分を図書費以外に使っているためです。地方交付税は使い道は自治体の裁量ですが、子供達の図書費が不要不急の公共工事などに使われ、本の購入が後回しになっているとしたら問題です。

しかも国はH一九年から五年間、学校図書費を増額する臨時措置を講じました。それなのに釧路市は、学校図書費を全く増やしていません。決算委員会の中で、市長に増額を強く求めました。

もうひとつ、学校から要望の強いのが教材費の増額です。印刷機リース代や大型教材などを除いた学校配当予算は、一クラス小学校で八万円、中学でも一二万円です。これでは、子供達の教材の多くを保護者の負担でそろえなければ授業はできません。実際、一年間の教材費の保護者負担が九千円という学校もあります。父母負担の軽減のため、学校の教材費の増額も求めました。



千葉県野田市で全国初の公契約条例を制定

公共事業の賃金は、適正な労賃で積算されていますが、実際は積算賃金の4〜8割しか支払われていません。これでは、市がワーキングプアを生み出しているようなものです。

野田市は、公共事業の労賃について、市長が定めた賃金以下で雇うことを下請けも含めて禁止する「公契約条例」を制定しました。こうした取り組みに学び、適正賃金を確保するために、元請けに対して賃金の報告制度をつくれと求めました。



市の発注工事は適正な労賃を支払え

労働組合の実態調査より

職種	積算賃金	実際の賃金	
		男	女
普通作業員	11,000	9,087	6,728
大工	13,900	12,126	
左官	14,700	11,775	8,000
型枠工	13,300	9,325	6,287
とび	13,800	9,200	
鉄筋工	13,000	9,239	6,480

村上かずしげ通信

09.10.25 (9月議会報告 no.2)
発行 村上和繁 23-5212